

栃尾市栗山沢（国道 290 号線沿い）

調査日：平成 16 年 11 月 1 日（月）

班：地盤土構造マネジメント班 [古関]

分類別：被災状況

キーワード別：一般道路、盛土

調査結果

沢を埋めた盛土が 2 箇所で崩落。いずれも線形改善のために盛土を追加して新道を建設した地点。昭和 55 年竣工とのこと。旧道を利用して迂回交通。

北側の崩壊箇所（写真 1, 2）では、沢部からの排水工を確認（写真 3）。しかし、地中からの湧水もあった可能性あり（調査時点では旧道路面に排水中、写真 4）。写真 2 には崩壊したジオテキスタイル補強土が見える。

南側の崩壊箇所（写真 5）も排水工があり、調査時点でも水が流れていた。背後には民家があり、沢部は蛇かご工で保護（写真 6）。



写真 1 北側の崩壊箇所（北方向を望む）



写真 2 北側の崩壊箇所（南方向を望む）



写真 3 沢部からの排水工



写真 4 路面への排水状況



写真5 南側の崩壊箇所



写真6 南側崩壊箇所の背後の状況